

第10回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 議事概要

1. 開催日時：令和7年1月28日（火）15:30～16:00

2. 開催場所：福井県庁 地下1階 正庁

3. 出席者：福井県 土木部長 田中 克直
土木部理事 平林 透
道路建設課長 砂村 秀成
高規格道路課長 小川 裕樹
近畿地方整備局
道路部長 田中 倫英
福井河川国道事務所長 野村 文彦

4. 議 事：

○大野油坂道路事業の進捗状況等について確認した。

（事業進捗状況）

- ・ 国より、令和7年1月20日に開催した有識者検討会において、九頭竜・油坂区間の新子馬巣谷橋（仮称）において発生している工事課題について、具体的な対策方針を提示し、有識者から頂いた意見について報告があった。
- 下部工事（A1橋台・P1橋脚）における、大きな地すべり面の存在や、P1橋脚ケーソンの沈下不能対策については、施工の安全性・確実性、橋梁の長期安定性の観点から踏まえ、回転切削圧入工法で鋼管を地中に30本打設する対策を講じる。また、地質調査結果に基づき、支持地盤の変更が必要となったP1橋脚ケーソンについて、ケーソン躯体を当初設計より2.5m伸ばす対策を講じることを基本とするが、掘削中に実際の地盤で強度が得られた場合は、支持地盤の変更を可能とする方針に、有識者からは妥当との意見をいただいた。なお、雪の影響等で、A1橋台や隣接切土法面に動きも見られ、有識者からは、今後の施工にあたっての安全管理の徹底について助言があった。
- 上部工事（A2橋台側）については、7号補強土壁について、重力式擁壁に構造変更し、破碎帯を避けた位置に場所打ち杭を設置する対策を講じることとし、有識者からは妥当との意見をいただいた。
- ・ このため、今後、地盤の動きを抑止するための対策工事に着手し、年度内を目途に、精査中の開通時期について、お知らせする予定との報告があった。
- ・ 現在掘削中の大谷トンネルについては、再び突発湧水が発生しており、地盤の状況が悪く、引き続き、施工が難航している状況、前回報告のあったリスク工事のうち、新下半原トンネルについては、大雪の影響で工事着手に遅延が発生している状況の報告があった。また、新林谷橋については、引き続きリスクを有していることについて説明があった。

（事業費等監理）

- ・ 開通時期や設計の見直し等に伴い、事業費については引き続き精査を行い、精査完了後、速やかに結果を共有することの報告があった。

○福井県から以下の要請があった。

- ・ 対策工の決定をふまえ、精査後の開通時期と事業費をすみやかに示していただきたい。
- ・ 工事の安全確保を前提に、県内全線開通を一日も早く実現していただきたい。

以上